

学習管理ファイル画面 P-1

★ 各ボタンでのヘルプ

それぞれのツールにマウスを充てるとそのツールのヘルプがテキストボックスに表示されます。

The screenshot shows a software interface with several panels and a help window. Annotations with red arrows point to specific elements:

- データ位置/総件数**: Points to the page navigation area (881 / 1700).
- 削除 登録データ削除**: Points to the '削除' (Delete) button.
- 特別局**: Points to the '特別局' column in the table.
- DXCCリスト**: Points to the 'DXCCリスト' table.
- 返還前プリフィックス**: Points to the '変換前プリフィックス' column.
- 返還後プリフィックス**: Points to the '変換後プリフィックス' column.
- dxcc番号**: Points to the 'DXCC番号' column.
- ARRLdxcc番号**: Points to the 'ARRLdxcc番号' column.

The help window on the right contains the following text:

★ 注意 ★ この画面表示中はこの画面の状態を安定化するため「テルネット」取込を一時的に中止しています。 ★★

★ 学習ファイル更新

- 1 取込 = 「BGAGAKUSYU.TXT」をNWから取込
- 2 削除 = 登録しているデータを削除
- 3 追加登録 = 「BGAGAKUSYU.TXT」により新規に追加登録

※ 登録の都度レポートが報告されると、更新しアットから自動or直接更新

★ 学習DB追加登録

下のテキストボックスを正しい内容に整備

※ 返還前プリフィックスは重複投入は不可

★ プリフィックスが正しく変換できなかった場合

①「学習ファイル更」、②「学習DB追加登録」の順に実施してください。

各ボタンにマウスを当てるとヘルプが表示されます。

Buttons in the help window: ① 検索, ② 検索, ③ 検索, ④ 検索, ワーク欄から取込, 特別局へコピー, エクスポート (BGA用), マニュアル

・学習機能の仕組み

「OF9X」の検索例(メイン画面での検索時)の流れ

- ①最初にDXCCリストと学習機能へ「OF9X」で検索、いずれも不一致 ⇒
- ②「OF9」の文字に縮めて検索、不一致 ⇒
- ③「OF」にまた縮めて検索 ⇒
- ④学習機能で2文字一致、プリフィックスで一致 ⇒
- ⑤長い文字列で一致した学習機能よりDXCC番号を取得して224(=OH)に確定

- ・「OF9X」をDXCCリストに確認に行きますが、DXCCリストとは、「O」以外は不一致:1バイト
- ・この学習機能との検索では「OF」で一致:2バイト(長くヒットしたものを優先としてOHと判定)

このため学習機能登録は長い方が正確に一致させることが出来るのですが、長く登録すると一致させるにはたくさん登録をしなければなりません。(加減が微妙) その局のみ特殊なプリフィックスとなる場合には長い文字で登録します。

学習登録はプリフィックス登録との完全一致が必要です。

DXCCカントリーリストは各自で変更登録しないでください。

誤って登録するとプリフィックスが「—??—」の様に表示されます。

このファイルはBGALOG VUP時にメンテナンスされるので通常メンテナンス不要です。

「—??—」と表示される局が発生した場合「JA5BGA」までレポートください。 この機能は常時使用されメイン、テルネット画面等で使用されています。

学習管理ファイル画面 P-2

(メンテナンス)

1 最新学習ファイルから更新

テキストファイル「BGAGAKUSYU.TXT」より取込メンテナンスを行います。
通常は新しい「BGAGAKUSYU.TXT」があれば、自動的に現在のファイルに新しい学習内容に自動的に書換が行われます。

正しく検索できなくなった場合に使用してください。
この作業は、現在使用中のファイルを全て削除し、その後、「BGAGAKUSYU.TXT」より新規取込書換

★ 規定外コールサインの扱い（基本的な考え方） （これ以外に判定方法が在ればお知らせください。）

コールサインについては、ほとんどがプリフィックスサフィックスで規則正しく作成されており、この学習機能でほぼカバーできています。

B G A L O Gでの変換の考え方

- ① 国内移動、「***/P」「***/5」などの1文字についてはプログラム内で「/P、/5」等の文字を削除してします。
（国内移動地として使用されていると思われる部分を削除してコールサインで判定） P-1学習機能の仕組み参照
- ② 「OH⇒OH、OH0⇒OH0、OHOM⇒OHOM」の場合は学習機能の文字列の長く一致したものを正しいとみなして変換しています。
（共通している部分の最大共通部分の登録）
- ③ 「N1SNB/CY0」などの様にプリフィックスの有る場合は「/」を前後して短い方をプリフィックスとして取り込んでいます。
（移動地明記の判定（前後に設定する場合は有りこのため短いものをプリフィックスとして選択））
- ④ コールサインの末尾から1文字ずつ検索を行いヒットするまで繰り返します。
- ⑤ 上記以外の規定外のコールサイン
特別局欄に登録します。
学習ファイルは最初に特別局を検索しヒットした場合は、他の検索を行わずその登録しているプリフィックスを取得
ヒットしない場合は、①～④を実施してプリフィックスを特定します。

メイン画面関係 P-3

(規定外プリフィックスの扱い)

ページ2の④への対応方法

- 一時的修正方法と学習登録方法
状況に応じて使い分けを行ってください。

バンドモート上のプリフィックスは選択時のみ機能します。

- 学習誤登録の追加・修正
下図の様に訂正します。
今後の検索は隔週機能に基づき
変換されます。
文字列が長く一致したものが優先

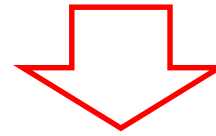


変換前 プリフィックス	変換先 プリフィックス	DXCC番号
RI0	UA1	054
RI1AN	CE9	013
RI1FJ	R1F	061



一時的修正方法

プリフィックスを選択すると自動的にプリフィックス、DXCC番号、ゾーン、住所、が変更されます。
一時的で次回検索後も上図のようになります。



変換前 プリフィックス	変換先 プリフィックス	DXCC番号
RI0	UA0	015
RI1AN	CE9	013
RI1FJ	R1F	061

確実な変換の方法

/** のフルコールサインを変換前に登録して変換先に変換させたいプリフィックス、DXCC番号を学習登録する。

問題点、登録が多くなり大変です。

自分で登録を行うとその後学習のメンテナンスが出来ない為、当方へ自動レポートするようになっています。

当方へ連絡いただきましたらその登録の状態を判定して修正・登録をしていきます。

その都度NWへ登録していますが、アップロード時に自動的に更新します。